

1. 業務内容

東日本大震災に係るガレキの撤去・運搬等の現場監督

2. 箇所

大船渡市末崎町南（碁石海岸、泊里漁港、門の浜漁港）海岸沿い浸水区域

3. 作業人数

約60～70人（臨時雇用、交通誘導員含む）

4. 1日の流れ

8:00 朝礼

8:30 作業開始 安全パトロール・立会等

12:00 昼食

13:00 安全パトロール・立会等

16:30～17:00 各現場からの報告

17:30 頃大船渡市役所帰庁

18:00～18:30 課内会議（各現場からの報告、全体への指示事項等の打ち合わせ）

18:30 退庁

現在、碁石海岸、泊里漁港海岸沿いは完了し、門の浜漁港海岸沿いの太田団地を作業しています。（写真：朝礼状況・現場状況・現場位置図）





前任の担当事務を引き継ぎ、主に地主さんと対応し、被災した建物の取り壊しについてどのようにするか地主さんの意向（全部撤去、コンクリートのたたき等を残しほかは撤去など）を聞き施工業者に伝えるのが主な仕事です。また、現場のパトロールと便槽の位置を調査し、担当の係に抜き取り作業の依頼などの仕事をしています。

10月1日（引継ぎ時点）末崎地区の状況は、被災家屋上屋の解体がほとんど完了しており、大きな団地があったところも、その面影が見えない状況です。現地に来てガレキの撤去がかなり進んでおり復興に向け進んでいるのを感じています。写真で見るのとは違い、震災の大きさ、凄さを感じました。被災した面積が大きすぎて「すごい」としか言葉が出てきません。大船渡市全体を佐久市でたとえると佐久平駅周辺、岩村田・野沢・中込の商店街がなくなっているような感じです。

生活面では、必要な買い物については被災を受けていない場所の店で対応が可能で特に問題はありませんが、宿は被災地にあり、宿の女将さんに「地震が来たら高い場所に逃げてください。」と最初に言われたことが印象的でした。